

社会教育委員研修

— 未来を見据え、学び続ける「社会教育委員」 —

R6.11.1 (金): あすてらす

【あいさつ】「しまねの社会教育推進に向けて」

島根県社会教育委員連絡協議会会長 有馬 毅一郎 氏

今日は、応援団長の挨拶のつもりで聞いてほしい。研修が終わった時には、楽しんで元気をもらって帰ってほしい。「社会教育って？社会教育委員の役割って？」について、どういったものかはベテランの委員でも理解できていない。教育は、数限りない深みがあるし広がりもある。これでわかったなどということはないので、未永く楽しんで考えてほしい。

先日県内で行われた「全小社研島根大会」では、「地域に学び未来を共に拓く生き方を問い続ける社会科学習」と、まさに社会教育と重なる思いがテーマとして据えられていた。

地域の中で、社会教育委員を生かすも殺すも事務局次第。その反対もある。

社会教育が進んでいくためには、行政と委員のコミュニケーション・連携が大事だ。島根県は、公民館の名称が市町村によって異なる。自治体は工夫して事情に合わせてほしい。違ったシステムで社会教育を進めたいことも理解してほしい。

冊子「しまねの社会教育で大切にしたいこと」があるが、どんなふうになっているかを想像したり考えたりしながら島根のことを考えると同時に、自分の守備範囲の地域で、社会教育で大切にしたいことを考える力をつけてほしい。(挨拶一部紹介)



有馬先生には、今年度をもって会長職を辞されます。永年、島根県の社会教育を支えていただき、ありがとうございました。

【講義】「社会教育委員と担当者に期待すること」

文教大学 人間科学部・大学院人間科学研究科 教授 金藤 ふゆ子 氏

1. そもそも社会教育委員とは何か —法の規定から分かること—

社会教育法第17条に社会教育委員の職務と役割が明記されている。
○社会教育諸計画の立案 ○行政への意見具申
○青少年教育の関係者への指導・助言 ○調査研究

2. なぜ、社会教育委員に幅広い職務・役割が期待されるのか

社会教育委員は、社会教育法に明記された非常勤の特別職公務員
①社会教育委員の制度は、市民参加を実現させる仕組みである。
②社会教育委員は、社会教育に関する事業の全過程に対して意見具申ができる存在であり、いわばオンブズマン的役割が期待される。
③社会教育委員は、市民主体の社会教育を実現するための市民と行政の橋渡し・パイプ役である。

3. 日本の生涯学習や社会教育の政策はどのように変化してきたのか

社会教育と地域・コミュニティづくりに関する近年の中央教育審議会答申・議論の整理・諮問
(2015) 地方創生の実現→ (2018) 新しい地域づくり→ (2020) 誰一人として取り残さない社会の実現へ→ (2022) 共に学び支えあう生涯学習・社会→ (2024) リカレント教育の推進と社会教育人材の養成・活躍のあり方
→ (2024) 地域コミュニティの基盤を支える今後の社会教育の在り方と推進方策について (諮問)



社会教育とつながるキーワードがちりばめられている。

今後、社会教育・生涯学習に期待される役割とは
○デジタル社会への対応 ○地域コミュニティの基盤形成
○社会的包摂の実現 ○ウェルビーイングの実現
政策変化と共にどのような制度改革がなされてきたのか
教育基本法の改正、社会教育主事資格講習等既定の改正

4. 地域にはどのような問題状況があり、改革がすすめられてきたのか

①少子・高齢化・人口減少→地域社会は崩壊する
②労働力人口の減少→生産性が極端に低下している
③様々な格差の増大→子ども、障害者、高齢者、孤独・孤立状態にある者、外国人、女性の貧困の増加等

5. 関連する研究や先導的事例の紹介

(1)学校と地域の連携・協働は地域の大人、子ども、教員に変化・効果をもたらす
(2)派遣社会教育主事は持続可能な社会の構築に有用な人材である
(3)地域の学び合い・支え合いの推進は健康寿命を長くする
島根県の社会教育調査より *社会教育関係者の3つの使命
①地域の人々の笑顔を増やすこと ②人と人との語り合いを増やすこと
③人々の日常生活に変化をもたらす、人々が自ら行動を起こせるようにすること
(4)社会教育委員の先導的活動の紹介
*長崎県…社会教育委員の活動を「可視化」(行政内部、県社会教育委員の活動、県・市町村社会教育委員相互)
*岐阜県…「地域学校協働活動」を焦点に審議・研究を重ねハンドブックを作成



地域学校協働活動のもたらす効果は、子どものみならず教師にもみられる。

語り合える場が社会教育施設で提供されている。

(講義一部紹介)

【実践発表】「未来を創る社会教育委員～よしかっ子7か条の取り組みより～」

・よしかっ子7か条を町の広報でマンガ形式で連載したことかな。
・家に7か条のマグネットが貼ってある。ポイントラリーも地域を巻き込んだ取り組みになったね。
・7か条を初めて知った時、よくできているなど。職場の皆さんも知っていたことに驚いた。

社会教育委員になって印象に残っていることは

・社会教育は「具体的に何？」というの難しいが、7か条は形にできた。
・念願だった「のぼり旗」を地域に立てられたこと。知ってもらいたいという願いが形に！
・安心できる会。いろいろな意見が出せるね。
・今年から委員になった校長先生は、この会議が一番いい、すごい会議だと言っていた。

委員としての活動の成果は？

今後の展望は？(課題)

・範囲の広い社会教育に対して、町が「家庭教育支援」に重点を置いた。
・「よしかっ子7か条」という委員が中心になって考えたアイデアがあることで、様々な意見がフラットにできるようになった。
・社会教育委員と行政担当の仲の良さ。
・意見を言いやすい会議にするために、お互いに思いやりをもって話を聞き、意見を尊重したこと。

・よしかっ子7か条の取り組みについて、成果や課題を整理して総括すること。
・「家庭教育支援」を核としていくのか。
・個人の思いだけではなく、町が何を目標しているか、委員に何を期待しているかを明確に。
・教育委員と対話や意見交流する場の設定。
・どんな人づくりをすべきか、そのために必要な制度や場は？

「よしかっ子7か条」プロジェクト

月 決めた時間(6時30分)までに起きよう
火 決めた時間(低学年9時・高学年10時)までに寝よう!
水 テレビやゲーム等は時間を決めてしよう!
木 自分から進んであいさつをしよう!
金 お家で決めたお手伝いを進めよう!
土 食事の時はテレビを消し、会話と食事をしよう!
日 地域活動に参加して、豊かな自然や伝統文化に関わろう!
📌 決めた時間になったら家庭学習や読書を進めよう!
吉賀町社会教育委員の会 2017年4月発行

吉賀町社会教育委員の会 吉賀町教育委員会担当者

よしかっ子7か条のできた経緯

平成23年度に教育委員会として「家庭教育支援」に力をいれることになり、社会教育委員のメンバーを家庭教育に特化する。当時の子どもの実態を調査したり、万歩計を配布したりする。その結果を、専門家から解析・助言してもらおう。会でも何回も検討し、「吉賀の子どもたちに何が必要か？」から7か条がうまれた。

真剣に話したね 委員として、調査・研究したね

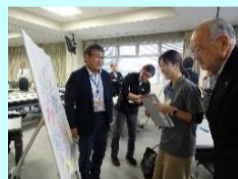
広報誌に委員の顔写真も…ふり返っても、7か条は会の軸に

アイデアを出し合った時間は楽しかったもっとうしたらあったから、次のアイデアがうまれたね
マグネットを新1年生に手渡したね
(発表一部紹介)



【演習】「未来を見据え、学び続ける『社会教育委員』をめざして」(ワールド・カフェ)

- <ラウンド1> ①講義から「社会教育委員として大切だと思ったこと」実践発表を聞いて、「社会教育委員の姿でいいなと思ったこと」を話す
②テーマについての話し合い
- <ラウンド2> ①移動したらホストが説明
②「社会教育委員って何をすればいいの」「自分はどんなことを心にかけているか」
- <ラウンド3> ①移動したらホストが説明
②「社会教育委員として、会としてやってみたいこと」



担当者フリートーク
①社会教育委員の会の年間開催回数・予算
②社会教育計画にどのように関わってもらっている?
③運営でうまくいっていること、困っていること

【実践】吉賀町の実践事例から得た知見—1—

- 1. 子どもの学びの場を学校内にとどめず、地域全体と捉える
- 2. 子どもたちを地域全体で育む仕組みづくり
- 3. 社会教育委員は常に学び続ける存在である…よしかっ子7か条や各種計画を策定

知見—2—

- 1. 社会教育委員は広報等を活用して活発に情報発信
- 2. 社会教育委員、行政職員、社会教育主事の連携・協働の実現
- 3. 家庭教育支援にも積極的に貢献

【アンケートから】

・講義は、綿密な統計データと中央行政の方針、法的変遷等、非常に大量の情報をわかりやすく、かつ、社会教育委員のなすべき役割と関連づけて説明していただき感銘を受けた。
・参加してとても良かった。演習についても、とても工夫が感じられて良かった。
・吉賀町の実践事例、以前よりかなりパワーアップしていた。委員の結束力が垣間見られてよかった。
・何をすべきかのポイントをいただいた。活動の可視化を図りたい。
・社会教育委員としては、まだまだ学び続けなければと思わせていただいた。金藤先生、吉賀町社会教育委員の皆様の発表、元気が出ました。

知見—3—

- 1. 今後の課題をさらに深く・具体的に考えている
- 2. 吉賀町の子どもにどう育ってほしいかを考える
- 3. 教育委員とも連携したい。共に議論し考える場の設定など

演習から得た知見

・委員同士が語り合うこと、情報の共有が第一段階
・新たなアイデアも話し合いの中から生まれる
・「社会教育委員の研修自体を社会教育委員自ら考える」こともあって良い
・優れた実践や問題・課題をかかえた地域を訪問・調査する
(講評一部紹介)

・地域とは、志ある人が集まっているところであり区域ではない、広くとらえていいのだということ、多様な学びや体験を通して、地域や学校に生かす力を育てることが社会教育の役割であり、「探求力」を育てる力となること、語り合える場づくりの大切さを学んだ。
・いろいろな市町の方と話し、悩み・課題を共有できたことがよかった。楽しかった。
・社会教育の大切さと集まって話をする重要性が実感される研修会だった。
・講義の内容がとてもよかった。社会教育の成果と社会の変化の関連が少し見えてきた。
・実践発表は、発表の仕方ももちろん、聞いていて、いつもの社会教育委員会議の様子がかかえるものだった。わくわく楽しく、吉賀町のよさが伝わってきた。(一部抜粋)